

款	項	目				
1	1	1	担当部局・課名		議会事務局	
事業区分			継続事業		—	
事業名			事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
議会運営経費				① 需用費	④印刷製本費	3,883
				② 役務費	①通信運搬費	1,400
				③ 委託料	①業務委託料 (物件費)	7,447
				④ 使用料及び賃借料	⑨その他使用料及び賃借料	1,677
				⑤ 負担金、補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	7,920
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			22,327
該当ページ			36 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		14,266
			39 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		36,593
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定)	36,593				535	36,058
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	通信回線利用者負担金、複写機使用収入				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	・本会議の会議録整理業務委託、本会議、委員会のケーブルテレビ中継業務委託、タブレット端末使用料などの議会運営に係る経費 ・市議会だよりの発行など情報公開に伴う経費 ・政務活動に係る補助金や委員会視察研修などの政策形成・立案に資する経費					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	需用費 (④印刷製本費) 3,882,450円 ・三次市議会だより (定期4回+臨時1回) 各24,100部の発行、議会報告・懇談会開催周知ポスターの作成等 役務費 (①通信運搬費) 1,399,056円 ・スマートフォン、タブレット通信費 (10,000円×12か月) ・レタックス (1,208円×12か月 = 14,496円) ・タブレット通信費 (3,410円×28台×12か月) ・ケーブルテレビプロバイダー料金 (9,000円×12か月×1.10) 委託料 (①業務委託料 (物件費)) 7,446,560円 ・会議録整理業務委託料 (定例会4回 (臨時会4回含む。)) 2,618,000円 ・議会中継委託料 (定例会4回, 臨時会4回) 2,815,560円 ・インターネット配信 1,749,000円 ・テロップ修正業務委託 264,000円 使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料) 1,676,400円 ・タブレット借上料 (1,500円×28台×2か月×1.10) ・サイブックス使用料 (75,000円×12か月×1.10) ・音声認識システム使用料 (10,000円×12か月×1.10) 負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 7,920,000円					
	別添資料 無 (一覧表/図面等) ・旅費 (①費用弁償) 5,277,714円 (議運・3 常任31人×70,000円, 広報広聴7人×50,000円, 特別委員会10人×50,000円 ほか)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など) 広報広聴機能の充実を図るための経費及び法の規定に基づく会議録作成。 議会運営の効率化, 情報の共有・伝達の迅速化を図るため, また, 必要十分なスペックでのタブレット端末の更新を予定。 先進地事例を学び, 議会運営と議員のスキルアップのための視察旅費 (参加対象を見直し, 経費の縮減を図った) など。						



会派研修会の様子 (政務活動費)

款	項	目				
1	1	1	担当部局・課名	議会事務局		
事業区分		新規事業		—		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
議会傍聴席モニター字幕表示			① 使用料及び賃借料	⑨その他使用料及び賃借料	132	
			② 備品購入費	①庁用器具費	72	
			③			
			④			
実施計画No,			⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①～⑤の計) →			204	
該当ページ		38 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
		39 / 頁	⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →			204
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和7年度 (予定) 特定財源内訳	204					204
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)		議場の傍聴席にモニターを設置し、字幕表示をすることで、聴覚障害者等をはじめ、多くの方々が傍聴しやすい議会運営をめざす。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表／状況写真／図面等		使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料) 132千円 ・音声認識システム使用料 (10,000円×12か月×1.10) 132,000円 備品購入費 (④庁用器具費) 72千円 ・ワイヤレスHDMIエクステンダー 71,280円  発言をリアルタイムで文字化して表示する傍聴席のテレビ 人工知能 (AI) の音声認識システム「ScribeAssist」				
別添資料		無				
(一覧表／図面等)						
継続事業＞ 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
執行部が導入する議事録作成支援システムの追加サービスを活用することで、導入経費の圧縮を図った。						